

(株)京都産業振興センター	平成28年度経営計画 兼 経営努力結果
---------------	------------------------

基本事項

所管局課	産業観光局産業戦略部産業総務課	本市出えん金	54,000 千円
基本財産/資本金	90,000 千円	本市出えん率	60.0 %

「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」

方向性	自律化	目標年度	平成32年度
-----	-----	------	--------

「今後の方向性」に向けた基本の方針

業務面	京都市勸業館の稼働率50%以上を安定的に確保できるよう営業活動に注力する。
財務面	今後も継続して京都市勸業館の指定管理者に選定されるよう盤石な財務基盤を構築する。
組織面	社員の資質向上を目指す。
その他	京都市の株式保有率を25%未満に引き下げするための環境づくりを進める。

当年度の取組目標に対する意見

所管局	<p>稼働率50%以上の安定的確保を図る上では、地元のみならず他地域の顧客獲得が必要であり、「業務に関する取組」として挙げられている首都圏での積極的な営業活動の実施は評価できるものであり、成果に結びつけていただきました。併せて、ロームシアター京都のリニューアルオープンに伴い、ロームシアター京都との一体的な利用についても積極的に提案し、利用者の選択肢を広げることで展示場稼働率の目標値を達成することが必要である。</p> <p>また、財務面では、閑散期対策における自主企画事業の充実に加えて、一層の経営の効率化に努めることで、引き続き黒字の確保を目指していただきたい。</p>
-----	--

当年度の取組に対する総括

団体(※)	<p>今期は、大型の学術会議の招致に成功するなど勸業館の稼働率は年間を通して好調に推移し、通期で53.66%と近年では最高の実績となった。稼働率の上昇に伴い施設利用料収入も増加し、また、駐車場の利用状況も好調だったことから財務面でも想定を上回る好成績となった。</p> <p>また、最大の課題であった次期指定管理者の獲得についても達成することができた。</p>
所管局(※)	<p>平成28年度は、大型の学術会議の招致に成功するなど年間を通して勸業館事業が好調に推移したことや、ロームシアター京都のリニューアルオープン等により、駐車場の利用も好調に推移したことから、稼働率は53.66%と近年では最高の成績となり、京都産業の振興に大きな役割を果たしたと評価できる。</p> <p>引き続き、勸業館の展示稼働率の更なる向上、新規顧客の獲得に向け、勸業館の多様性や多目的性をアピールする営業活動に加え、ロームシアター京都など岡崎地域との連携による大型催事の招致に向けた営業活動を期待する。</p> <p>財務面では、開館20周年記念事業の実施などの特別損失や施設の修繕等が増加したものの、売上総利益、営業利益、経常利益のすべてにおいて平成27年度を上回るなど、損益は安定して黒字を計上しており、経営努力に対しては、大いに評価でき、投資的な支出（施設の修繕、貸出備品の充実、広告宣伝等）を実施することにより、展示場利用者の満足度、展示場稼働率の更なる向上を図り、収益増を目指すよう指導する。</p>
外郭団体総合調整会議(※)	<p>安定して黒字を計上しており、財務的に問題はない。引き続き、顧客の獲得に向けた取組を継続し、施設稼働率の一層の向上に向けて、努力を続けてほしい。</p>

(1)業務に関する取組

目標「京都市勧業館の利用促進」

中期経営計画 における取組	<p>営業活動，自主企画事業の実施及びホームページ・広告等の広報を通じて，多目的に利用できる施設であることをアピールし，新たな顧客を開拓していく。</p> <p>なお，京都市勧業館の指定管理受託期間が平成28年度までとなっていることから，平成29年度の数値は記入していない。</p>
当年度目標	<p>①本年1月にロームシアター京都がリニューアルオープンし，新たなMICEエリア「京都・岡崎MICEスクエア」として営業活動が行えるようになった。当館単独の利用はもちろんのこと，ロームシアター京都との一体的な利用についても積極的に提案して利用者の選択肢を広げ，稼働率50%台を目指すとともに，岡崎エリアの賑わいの創出に貢献する。</p> <p>②2020年の東京オリンピック開催に向けて，首都圏での会場確保が困難になり，催事イベントの開催が地方に分散することが考えられる。それらを少しでも多く「勧業館みやこめっせ」はもとより「京都・岡崎MICEスクエア」に誘致することを目指し，首都圏での積極的な営業活動を行う。</p>
当年度結果 (※)	<p>今期は，稼働率が53.66%となり，2年振りに50%台を回復した。大型催事の招致に成功しただけでなく，開催催事件数も大きく伸びた。</p> <p>来期以降も，ロームシアターとの併用を含めた大型催事での利用を複数獲得しているが，地元京都の企業や首都圏の企業，団体に対して積極的に営業活動を行っており，50%を超える稼働率の確保に手応えを得ている。</p>

指標	展示場の面積稼働率 (単位：%)						
	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度
中期経営計画	—		53.0		54.0		—
実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	52.0	51.19	53.0	47.1	54.0	—	53.66

(株)京都産業振興センター	平成28年度経営計画 兼 経営努力結果
---------------	------------------------

(2)財務に関する取組

主要財務数値							(単位:千円)
	平成26年度		平成27年度		平成28年度		備考欄
	予算	実績	予算	実績(※)	予算	実績(※)	
経常収益	854,000	846,511	878,000	857,438	892,210	943,671	平成28年度は開館20周年にあたることから、20周年記念事業費10,000千円を特別損失に計上する。 ⇒9,031千円を特別損失に計上した。
経常費用	836,300	808,044	858,500	831,631	861,010	882,070	
経常利益	17,700	38,467	19,500	25,807	21,200	61,601	

目標「税引前当期純利益の確保」	
中期経営計画における取組	<p>指定管理者公募選定時の提案書に記載したとおりの額、またはそれを上回る額の税引前当期純利益（収支差額）が確保できるよう、収入の増加と経費節減に努める。 なお、京都市勧業館の指定管理受託期間が平成28年度までとなっていることから、平成29年度の数値は記入していない。</p>
当年度目標	<p>勧業館みやこめっせ開館20周年を迎え、各種自主企画事業において、企画内容の充実を図るとともに、集客増に努めることにより黒字の確保に努める（継続目標）。</p>
当年度結果(※)	<p>自主企画事業については、開館20周年記念事業をはじめ、「電車王国」や「京ものフェスティバル」及び二条通の賑わい創出事業等を予定通り実施した。一定の収入を見込める有料の催事に関しては、利益を生み出すまでには至らなかったが、開催目的の重要な要素でもある地元岡崎地域の賑わいの創出等は達成できたと考えている。</p>

指標	税引前当期純利益(本社会計)							(単位:千円)
中期経営計画	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		—		17,500		20,200		—
実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)	—
	15,700	37,725	17,500	22,942	20,200	—	52,085	

(株)京都産業振興センター	平成28年度経営計画 兼 経営努力結果
---------------	------------------------

(3)組織に関する取組

目標「業務遂行能力の向上と社会人としての基礎教養の涵養」	
中期経営計画 における取組	全社員を対象にした研修を実施する。また、外部団体が実施する研修に参加し、個々の業務に関するスキルアップを図る。さらに、市のMICE戦略2020の推進に貢献できるように社員の語学力の向上に努める。
当年度目標	全社員を対象にした研修を上半期及び下半期に実施する。特に今年度は、コンプライアンス及び情報管理を重点として実施する。また、商工会議所等が実施する研修に適宜参加するとともに下半期には昨年度に引き続き英語研修を実施する（継続目標）。
当年度結果 (※)	全社員を対象とした研修は、9月と3月に実施した。 下半期には英語研修(全24回)を実施した。

指標	効果的な研修の実施 (単位：回)							
中期経営計画	平成26年度		平成27年度		平成28年度			平成29年度
	—		3回		3回以上			3回以上
実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)	—
	3回	3回	3回以上	3回	3回以上	—	3回	—

(4)その他の取組

目標「市保有の株式売却に向けた環境づくり」	
中期経営計画 における取組	○平成27年度 → 専門機関に調査を依頼 ○平成28年度 → 調査結果について社内で研究 ○平成29年度 → 未定
当年度目標	調査結果を踏まえ、引き続き社内での研究を進める。
当年度結果 (※)	調査結果について、社内で研究するとともに、市に対し情報提供を行った。

指標	進捗状況 (単位：—)							
中期経営計画	平成26年度		平成27年度		平成28年度			平成29年度
	—		調査・研究		調査・研究			未定
実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)	—
	—	—	調査・研究	調査・研究	調査・研究	—	調査・研究	—